



散策路やせせらぎが設けられ、都心部の中に安らぎの場が創出されている



地域のイベント会場としても利用される



多彩な植樹や植栽が施され、潤いのある景観づくりが図られた

DATA・BOARD 22

- ①大阪府吹田市芳野町17番地
- ②面積：4,500㎡、延長：227.5m、幅員：6.9～21.7m
- ③大阪市営地下鉄御堂筋線江坂駅から徒歩13分、名神高速道路吹田ICから車で約20分
- ④千里万博公園、エキスポランド、国立民俗学博物館、国立国際美術館
- ⑤てくてくハイク、歴史探訪ハイク、バードウォッチングなど



22 水と緑のプロムナード



吹田市では、過去の都市づくりにおいて機能性や効率性を重視してきたことの反省に立って、都市の景観にも配慮していくことが必要であると判断したことから、吹田市都市景観形成基本計画を策定し、この計画に沿った整備を進めている。

「水と緑のプロムナード」は、市南部に位置する神崎川に沿った農業用水路周辺を整備したもので、大阪府が進めている神崎川右岸の景観整備事業との調和にも配慮している。

整備にあたっては、市内に残る貴重な自然環境を保全、再生するために水路を暗渠化して、その上部に施設を設けた。敷地内には約三割の高低差があったため、この高低差を利用し、滝や瀬、淵、堰などのあるせせらぎをつくり、親水性のある水辺を形成した。また、隣接する民有地の石垣や屋敷林を活用し、これらと一体化した景観構成が図られている。

市民のコミュニティの場となるようにポケットパークも設けられ、一部の敷地には木製床材や真砂土舗装を採用、多種類の樹木や草花を植え込んだり、自然石や天然木材を多く使用するなど、自然に近づけた施設となるように配慮している。従来の水路の再生も行われ、水生植物を植えて水辺の小動物が息できるミニビオトープをつくり、昆虫や小鳥が好む植樹を行い、自然の生態系の保全にも考慮している。

都心の中に生まれた水と緑の空間は、自然にふれることのできる子供たちの遊び場、市民の散歩道、休息の場として親しまれている。